

平成28年5月



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園 いちじまこども園

Vol.
25号

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>



きょう
からいっぱい
ぶんらしく
っすぐに
いちじま

遊びながら学ぶ

4月中旬より、主に3・4・5歳児が身近な自然の中に出かけ、遊びながらエコロジーを学んだり、自然の中で遊んだりする事を「楽しい」と感じられるプログラム『ムツレ教室』『クニニュータナ教室』に出かけています。



そんな学びを遊びの中で経験していくことを願っています。

▼草鬼というゲームで遊んでいます。



▲雨の日はカッパを着て楽しめます。



ムツレこぼれ話

みてみて♪
タンポポのゆびわ!



タンポポが野原一面にたくさん咲いているのを見て、感動した子どもが一言。『これはタタタタンポポやー!』素晴らしい命名力!



草鬼は遊びながら草花の名前を覚えるゲームです。オオイヌノフグリを見て『オオイヌノハマグリ!』と自信を持って言う子ども。ちよつぱり笑ってしまいう間違いをしながらも、少しずつ正しい名前を覚えていきます。



倉橋惣三の言葉

子どもの心は一時一事、

一時一我がその特性である。

ちよつとでも面白いことがあれば、

すぐ他事一切を忘れる。

興味の向かうところ直に

全我をその中に没入して

躊躇し遅疑するところがない。

これが、子どもの本性である。

(解説)

子どもは、おもしろいことがあると、そのことに夢中になります。さつきまで泣いていた子が、小さな生き物を見ているうちに、表情が次第に変わってくるなんてこともよくあることです。それは、希望であり、生きていく力そのものです。

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

